

神奈川県ビリヤード協会 -議事録-

2024.4.3 12:00～ Zoom 会議

参加者：安藤・崎村・板橋・田口・石井・杉万・浦野



| 1

議論内容：

1. 藤沢総合高校へのビリヤード台の設置と今後の作業
2. 会員店舗への挨拶まわりの進捗状況（協力者の募集、勧誘）
3. 2024年度 スケジュール
4. 総会に向けての中期計画
5. 企画書（店舗間交流イベントの開催について）
6. 全国ジュニア9ボール 神奈川誘致の是非
7. その他

1. 藤沢総合高校へのビリヤード台の設置と今後の作業

無事に台の設置が終了した。今後のサポートについては校長先生もしくは体育の担当の先生ともお話ししながら詰めていかなければならない。できたらこの先色々な考え方あると思いますけれどもクラブ活動なり部活動まで行けるような形にできればと思っています。（安藤）

KBA のホームページに活動報告をのせた。（石井）

加盟店舗にこういう活動報告をメールした方が良い（崎村）

このような活動は加盟店舗の下支えありきなので加盟店舗には実績をアピールした方が良い（杉万）

レクリエーション協会を通じて、神奈川新聞や神奈川テレビの方にコンタクトを取っている。そこで、このような情報の掲載をしてもらえたら良いと思う。（安藤）

2. 会員店舗への挨拶まわりの進捗状況（協力者の募集、勧誘）

まだ実施できていない。来週くらいから挨拶まわりをしてくる（安藤）

3. 2024年度 スケジュール

昨年の年間スケジュールをベースに2024年度のスケジュールを作成した（杉万）

県知事杯とKBA杯は同日に1日開催とした（石井）

4月中旬に送付する総会案内に間に合わせる様にスケジュールポスターを作成する（杉万）

4. 総会に向けての中期計画

一年後二年後三年後にはどのようにKBAが動いていくか？というところを考えている。

アンケート結果から神奈川店舗の交流を行ってほしいという意見が多かったので企画を進めていきたい。

一方で、イベントの運営にまわれる人的なリソースは限られているので理事会で行いたい普及活動などもバランスをとって行っていきたい。(石井) => 承認

イベントを行う際に理事はボランティアで活動しているが人件費を支払った方が良い。そうでないと今後理事になる人に負担が係るだけなので誰もやろうとしない(崎村)

イベントを行う際には人件費はかかるものなので、理事の人件費も含めて予算に計上した方が良い。その中で理事が人件費、交通費不要といった話になるのであれば、そのお金は寄附という形で精算にしたほうが健全だと思う(板橋)

5. 企画書(店舗間交流イベントの開催について)

イベントの企画～運営までを丸ごと加盟店舗に委ねてみる企画を作ってみた

年間の予算を取っておき、企画を理事会が承認したら補助金としてイベントを行う(石井)(杉万)

予算を取っても加盟店舗が補助金を使ってくれなければ意味がない。この企画が動き出す為には、まずはアプローチの仕方として加盟店舗のオーナーと仲良くなる必要がある。あと試合とかに関わらずという形でコミュニティ作る方が先だと思う(浦野)

KBAとしては予算をつける準備がありますと伝えていくことが必要。自発的に動いてもらえるようにどんどん伝達してくれる。逆に座談会的なものを設けて予算がこれだけあります。どうすれば皆さん喜ぶますかね?と聞いてみる方も良いと思う。(板橋)

=> アプローチの仕方を考えていく必要があるが、予算を取って企画自体を動かすことは承認

6. 全国ジュニア9ボール 神奈川誘致の是非

今まで主管していた関東支部が来年以降はできない。神奈川県に誘致したい。過去数年分のポスターや大会要項などのドキュメント類は全て残っている。また、大会の規模的にも神奈川の店舗を借りれば可能。補助金もNBAから降りるので金銭的な負担もない。(安藤)

過去数年分の収支を関東支部から確認した方が良い。あとNBAからの業務委託となるので契約合意をしておいた方が良い。(板橋)

=> 神奈川誘致に関しては承認

7. その他

KPBAに在籍していてKBAに加盟していないオーナーについてはKBAに加盟してもらいたい。店舗を経営しているKPBA会員と店舗を経営していないKPBA会員という差分を考える必要がある。優先順位として加盟店を優先すべきなのでKPBAに入っているからKBAの加盟店に入らなくても良いという考え方を無くしたい(崎村)

今のKBAの規約を確認するとKPBA会員を以ってKBA会員とみなされるので効力のある措置を取る場合には規約を変更する必要がある。また、規約変更の承認は総会案件となる(石井)

=> まずはKPBA理事長の園山さんに相談してみる(安藤)